

新しい音楽が生まれる瞬間に立ち会おう！「モニター観客」大募集！

紅葉坂プロジェクト Vol.5

ワークインプログレス

〈公開プレゼンテーション〉

音楽家が発信する表現のあり方とは？
歴史ある音楽堂の空間で、
聴衆はいかに新しい音楽に出会うか？

神奈川県立音楽堂の企画公募プログラム「紅葉坂プロジェクト」では、毎年2組を採択し、約半年間にわたり、音楽の未来を切り拓くアイデアの実現をサポートしています。「ワークインプログレス」は、アーティストによる創作の途中経過を、聴衆のみなさんに紹介する特別な場です。あなたもこのプロセスに参加して、新しい音楽が生まれる瞬間に立ち会いませんか？

ワークインプログレスでは
こんなことを行います！

- ① 2組のアーティストによる企画案のプレゼンテーション・演奏
- ② 選定企画委員によるコメント
- ③ モニター観客⇄アーティスト 質疑応答

木のホール

神奈川県立音楽堂

2026年3月20日(金祝)

14:15 開場 / 15:00 開始

事前申込制・全席自由 入場無料

モニター観客 になると…

プレゼンテーションと演奏を聴いたうえで、「質疑応答への参加」や「モニターシートへの記入」を通じて、アーティストにあなたの声を直接届けられます。企画のブラッシュアップにつながる、率直なご意見をお寄せください！

来場予約

1月17日(土) 受付開始
KAme(かながわメンバーズ)会員先行(WEBのみ)：1月16日(金)

▼取扱(WEB、電話)
・チケットかながわ 0570-015-415(10:00～18:00)

▼取扱(劇場窓口)
・神奈川県立音楽堂(13:00～17:00、月曜休)
・KAAT 神奈川芸術劇場(10:00～18:00)

▼公式 WEB

▼事前申込



※未就学児入場不可
※チケット発券手数料の
お客様負担はございません。
配送をご希望の場合は、
送料460円を申し受けます。

企画名

一息ごとに一時間、あかいくつをさがして

企画者 あいたみずき
会田瑞樹

©Shoichi YABUTA

横浜に伝わる数々の“声なき声”を新たに拾い集め、モノオペラ『あかいくつをさがして』を新制作。冒頭では八村義夫作曲《一息ごとに一時間》を演奏し、物語の序曲に位置付けます。退廃的な臭気が漂う現代で、童謡《あかいくつ》、「ハマのメリーさん」等を追憶し、忘れ去られゆく人や街を考察するきっかけとします。この作品を、待ち続ける、全ての人々に捧げます。

コメント

横浜、紅葉ヶ丘、紅葉坂。この場所で企画し、演奏、創作をするというのはいかなることなのかを考え続け、この構想に辿り着いた。横浜という街を愛する皆様と、その思いを分かち合うことができる作品を作るべく、奔走したい。



企画者プロフィール

会田瑞樹（作曲、打楽器）

「音楽の可能性を拡げ続ける情熱の人」(野本洋介氏/Band Journal2025年12月号)

多角的に音楽を見つめ続ける打楽器奏者。作曲家としても演奏家の視座を持つ「見通しの良い音楽」(北爪道夫氏)創りに定評がある。

出演

会田瑞樹(作曲、打楽器)、伊藤靖浩(キャラクター・テノール)、小野晃太郎(テキスト)

選定企画委員コメント

- (沼野) 横浜という街の記憶をさまざまな形で呼び起こすというプランはきわめて興味深い。
- (市川) 「現代音楽=難解」という固定観念を、土地の記憶と人の声によって内側から更新してくれることに期待しています。
- (ヲノ) 歌手一名のモノオペラですが、視覚的にも見応えのある大規模な作品になりそう。

企画名

10万年前のコントラバス／10万年後のコントラバス

企画者 こんどうせいや
近藤聖也

10万年前の“楽器の起源”と10万年後の“楽器の進化”の瞬間に、コントラバスを介してタイムトラベルする作品。徳武史弥《10万年前のコントラバス》では、AIが画像生成した架空の楽器を実際に制作し、古のコントラバス誕生神話を音で描きます。また、川島素晴《10万年後のコントラバス》では、廃材となったコントラバスのパーツを再構成し、新たな楽器を創造する過程を辿ります。

コメント

現在のコントラバスが「異化」された姿——過去や未来、環境により“原種”が大きく変容するイメージで楽器を再現したく企画しました。過去と未来、2つの時代におけるコントラバスの誕生とその成立過程を、ぜひ会場で見届けていただきたいです。



企画者プロフィール

近藤聖也（コントラバス）

北海道大学工学部卒業。某国立音大大学院修了。新作委嘱・初演の他、一人芝居『コントラバス』の主演やYoutubeでのコントラバスアニメ動画制作など、ソロや室内楽におけるコントラバスの可能性の開拓・確立のため、楽器演奏のみに囚われない革新的な公演企画や活動を行っている。勝手に。

出演

近藤聖也(コントラバス)、徳武史弥(作曲)、川島素晴(作曲)

選定企画委員コメント

- (沼野) コンセプトがシンプルかつ独創的という意味で評価が高かった。
- (市川) 10万年前と10万年後という途方もない時間軸を持ち込みながら、その中心に極めて身体的で物質的な楽器・コントラバスを据えている面白さ。
- (ヲノ) そんな壮大な思考実験をどのように音響化、視覚化していくのか。予想のつかないイメージの広がり期待。

選定企画委員



委員長：沼野雄司
音楽学者
神奈川県民ホール・音楽堂 芸術参与



委員：市川紗椰
モデル、タレント



委員：ヲノサトル
作曲家、音楽家
多摩美術大学教授

紅葉坂プロジェクトVol.5 本公演

2026年7月11日(土)予定

今回のワークインプログレスでのモニター観客の反応をふまえて、ブラッシュアップされた企画をどうぞお楽しみに！



木のホール
神奈川県立音楽堂

〒220-0044 横浜市区紅葉ヶ丘 9-2
TEL：045-263-2567（火～日：9:00～17:00）

<https://www.kanagawa-ongakudo.com/>

Facebook：神奈川県立音楽堂
X：@Kana_Ongakudo
Instagram：@kanagawa_ongakudo

※本公演では、無料シャトルバスの運行、託児サービスはございません。
※やむを得ない事情により、公演内容に変更が生じる場合があります。

- JR「桜木町」駅(南改札西口、北改札西口)・市営地下鉄「桜木町」駅(南1番出口) 徒歩 10分
- 京浜急行「日ノ出町」駅 徒歩 13分
- みなとみらい線「みなとみらい」駅 徒歩 20分

